

「ごみゼロの日」市内一斉清掃

5/30

各区から79名が参加し、市内ターミナル3カ所（梅田・難波・天王寺）で清掃活動を行いました。



ムランボ・ヌクカさんを囲む会

6/29

G20大阪サミットのために訪日・来阪したUNウィメン事務局長のムランボ・ヌクカ氏（元南アフリカ共和国副大統領）がクレオ大阪中央に来館され、大阪で活動している市民団体と交流しました。ヌクカ事務局長は、70年にわたる市女性会の活動などの各団体の取り組みを聞き、若い世代が意思決定に参画することの重要性や、家族形態の変容とともに今後多様な政策が必要であるなど、ジェンダー平等を達成するためのさらなる運動を呼びかけられました。交流会も和やかに開催され、大変有意義な時間となりました。



「女性に対する暴力をなくす運動」啓発キャンペーン

11/13

JR京橋駅前広場付近でDV防止のための街頭キャンペーンに参加しました。絆創膏を2つ配って、1つは誰かにプレゼントしていただくことでDV防止の意識の輪を広げていく取組です。



夕陽丘バザー

7月～11月

クレオ大阪各館で開催されたフェスタに参加し、石けんやタオル、日用品などを販売し、売上金の一部を夕陽丘基金に寄付しました。



秋の親睦旅行 1泊2日
「富山の伝統や自然に触れる旅」

9月～11月

今年の親睦旅行は、近畿日本ツーリストさんの企画で、総面積1,100坪の大浴場「金太郎温泉」と世界遺産「五箇山合掌造り集落」など富山をめぐる2日間のバスの旅でした。各区から総勢1,056名が参加しました。



地域女性団体協議会結成70周年記念「大阪市女性大会」

10/18

クレオ大阪中央ホールで結成70周年記念 大阪市女性大会を開催しました。各単位から会員5名ずつが参加し、第一部では「大会決議」として、地域に生きる女性の立場から「学習」と「実践」活動に取り組み、男女共同参画社会の実現に寄与していくことを確認しました。また、松井大阪市長や大阪市議員など、多くの来賓の皆様にもご臨席を賜り、お祝いの言葉や温かいメッセージをいただきました。第2部「70周年アニバーサリーステージ」では、12区がそれぞれの催しを披露しました。第3部では、16区から会員2名ずつが参加して、「河内おとこ節」の演舞を披露し、盛会のうちを終えることができました。



70周年記念誌発行

70年にわたる活動の歴史と市女性会のあゆみをまとめた「70周年記念誌」を発行しました。（全30ページ）

- ・会長あいさつ ・大阪市長祝辞
- ・70年のあゆみ（年表、できごと）
- ・夕陽丘募金の活動 ・各区の活動
- ・歴代役員一覧



「大阪マラソンクリーンUP作戦」清掃活動

11/28

中之島、難波、京セラドームの3カ所に分かれて清掃活動に取り組みました。



女子差別撤廃委員会 (CEDAW) 交流会 12/13

CEDAW (女子差別撤廃委員会) 委員の視察と交流会が開催され、アルナ・デヴィ・ナラン委員（モーリシャス）、ジュノベバ・ティシェバ委員（ブルガリア）、タマーデル・アル・ラマー委員（サウジアラビア）が、クレオ大阪中央に来館されました。市女性会も人権問題やジェンダーに取り組んでいる団体として参加し、リレースピーチ等を行いました。さまざまな団体と平等社会の実現に向けて意見交換や交流を行い、実り多い時間となりました。



新年互礼会

1/11

会 場：ホテルモントレ グラスミア大阪
「ブルーベル」 (21階)
参加者：各区会長・理事 23名
来 賓：7名



大阪市女性会のあゆみ

～ 70年の振り返り～ 第3回

今年は平成7年1月17日に起きた阪神・淡路大震災から25年ということで、テレビでも特集番組が編成されていました。

震災は阪神間の都市を中心に6,400名を超える犠牲者と20万棟を超える住宅の全半壊という被害をもたらし、大阪市内でも北西部を中心に17名の命が失われました。

当時の機関紙「婦人大阪」は、発災後に間をおかず、学校等に避難している人たちが阪神間の都市へ炊き出しのおにぎりを届けた様子を伝えるとともに、市女性会（当時、市婦協）で緊急の理事会を開催して震災義援金を募ることを決め、震災発生からひと月足らずで約500万円の義援金を集め、被災者のもとへ届けたこと、その後も各区や地域の女性会から間断なく支援の手を被災地に差し伸べられたことも伝えていきます。

昭和24年（1949年）に結成し、昨年70周年を迎えた市女性会ですが、結成の翌年（昭和25年）9月に大阪に甚大な風水害を与えたジェーン台風が襲った際に、2万食のおにぎりや衣料を被災者に奉仕したことをはじめ、大災害が起きた際には大阪市域の内外を問わず、被災者に寄り添いながら、行政と連携しつつ独自に被災者への支援、奉仕活動に携わってきた歴史があります。

大阪ではここ数年、大型台風等による風水害が続いていますし、30年以内にならぬ高い確率



で発生すると言われている南海トラフ地震への警戒も叫ばれています。また、そういった災害時における地域での活動や役割についても関心が高まっているところです。とくに女性や高齢者、子どもの視点に立った災害対策や避難所の運営などの被災者支援に留意することがたいへん重要となってきています。

一方で、災害への対応として「公助」「共助」「自助」といった言葉で役割分担のあり方がアナウンスされることも増えてきました。

こういった役割分担論には「限られた社会資源を効果的に投入する」といった理屈からは理解

できる部分もありますが、役割分担を厳格に意識するあまり、「共助」や「自助」が効果的に機能するような環境づくりについて「公助」を担う行政がおろそかにしないのかといった懸念も感じます。

防災の基盤となる都市インフラの整備という「公」の役割はもちろん重要ですが、そのうえで、「公助」の担い手である行政と、「共助」の大きな担い手である地域とが協力して、一人ひとりの市民生活を支えることができる仕組みをつくり、その中でそれぞれの役割を発揮できるように、女性会の立場からも問題提起していくことが重要といえます。

- 5月 定例総会
「ごみゼロの日」市内一斉清掃
- 6月 夙川座6月公演 観賞
ムランボ・ヌクカさんを囲む会
- 7～11月 クレオ大阪フェスタ バザー
- 9月 全国一斉複十字シール運動街頭キャンペーン
- 9～11月 市女性会会員親睦旅行
- 11月 「女性に対する暴力をなくす運動」講演会
「女性に対する暴力をなくす運動」啓発キャンペーン

- 11月 大阪マラソン クリーンUP作戦
- 9～12月 「大阪市ワーク・ライフ・バランス推進月間」事業
- 12月 女子差別撤廃委員会 (CEDAW) 交流会
- 1月 新年互礼会
- 各区「成人の日記念のつどい」でのDV防止啓発
- 2月 「北方領土の日」祈念大阪府民大会
- ～2月 区女性学習会
- 3月 女性学習研究大会
- PRリーフレットvol.5の発行